

売れる米づくり技術情報 (No. 1) ~ なんかん米 光る粒張り 粒ぞろい ~

平成 20 年度「売れる新潟なんかん米」づくり実践計画

平成 20 年 2 月 29 日
JA にいがた南蒲

平成 20 年 2 月 2 日 (土)、加茂文化会館にて平成 19 年度「売れる新潟なんかん米づくり運動」総集会が行われ、平成 20 年度米の取組を確認いただいたところです。

新潟なんかん米の目指す方向は…

- ・他地域に負けない品質の確保
- ・環境に配慮した稲作
- ・全量確実に売切る品揃え
(コシヒカリに偏らない品種構成)



早期販売と100% 産地指定の確保!

売る(買ってもらえる)ための米(商品)を作ろう!

○重点推進事項

1. 基本技術の確実な実践

○過剰生育の防止で整粒歩合の高い米づくり!

- ・適期播種の実施 4月20日頃(移植時期5月10日頃)
- ・植込み本数の適正化 50株/坪(中山間地60株)
- ・確実な生育調節 移植1ヵ月後の中干しと溝切り

○後期栄養・水の確保で健全な稲体づくり!

- ・2回目重点穂肥 生育状況に応じN成分は3kg以内で実施
- ・水管理の徹底 出穂前後の飽水管理、落水は25日以降

○土づくりで元気な田んぼづくり!

- ・土壌分析の実施 分析結果に基づく施肥
- ・土づくり資材の施用 稲わら秋すき込みと土づくり資材(堆肥)の施用

2. 多様なニーズに応える米づくり

○なんかん米を確実に売切るコシヒカリに偏らない品種構成

- ・作付構成比率 コシヒカリ65%、こしいぶき・その他35%(H21年目標)

品質向上へのJA支援

★1.9mmふるい目使用推進…H19産コシヒカリの1.85mmとの比較で1等比率10%UP

JA主食用米出荷契約者でJA農機センターからの新規導入者へ4,000円の購入支援継続

★土づくり対策

JAへ米出荷登録を行い、「なんかんソイル元気」15袋以上を購入し散布(委託)する方に、

散布委託する場合 120円、個人散布する場合 80円を助成

「総集会資料より抜粋」

食の安全性への関心、環境に対する消費者意識の高まりに対応するため
20年産コシヒカリより従来の慣行栽培を3割減栽培へ移行します。

↓
品質向上に向け、特に有機質の比率を向上させ緩効性窒素の配合や省力化を実現した
3割減栽培用南蒲オリジナル肥料「穂垂」

一般的栽培に比べ肥料使用量はほぼ同量

20年産コシヒカリBL栽培基準

項目	新潟なんかん米標準栽培(3割減栽培)		実践内容	
土づくり	稲わらすき込 と なんかんソイル元気 (またはその他土づくり資材)			
施肥 (kg/10a)	A		B	
	穂垂	配合元肥	30	穂垂
	穂垂	穂肥	25	元肥一発
			穂垂 穂肥一発	20
化学肥料 窒素量	3.9~4.2/5.8~6.0 (化学窒素量/全窒素量)			
	(稚苗配合含む、10aあたり20箱使用想定)			
育苗	a		b	
	エコホープDJ タチガレン粉 ① ダコニール粉 ①		テクリードCフロアブル ① タチガレン粉 ① カスミン粒 ダコニール粉 ①	
除草	初中期一発剤		ゴウワン ④ または トップガン ④	
	初期・後期処理剤		ソルネット粒① または ダッシュワン② または バサグラン粒①	
病虫害	ア		イ	
	スタークル箱粒剤① ダントツ①		Dr.オリゼスタークル箱粒剤② ダントツ①	
農薬 成分数	9 ~ 12 成分 (○囲み数字の合計)			

※A、B、C、Dやa、bならびにア、イは選択です。上記を基本にして、地域性や前年病虫害発生状況により使用農薬の成分数を増減してください。